

令和元年

第2回定例会

(会期9月19日～10月24日)

決算特別委員会で質問



竹平区議

令和元年 第2回定例会

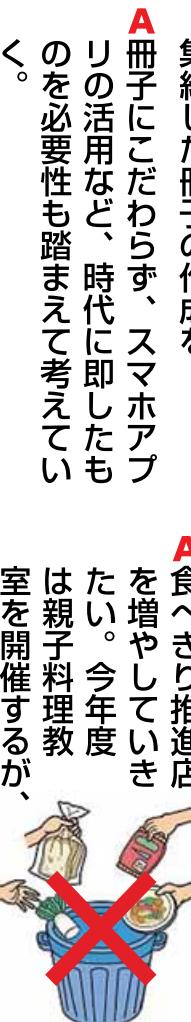
Q 区のホームページの更なる多言語化と「やさしい日本語」を取り入れては。

A ホームページは現在3カ国語で、それ以外の言語の追加についても、全庁的な取り組みと合わせながら検討していく。外国人向けページの作成を検討しており、「やさしい日本語」はそこに取り込んでいきたい。

外国人への情報提供について

Q 外国人への生活に必要な情報を集約した冊子の作成を。

A 冊子にこだわらず、スマホアプリの活用など、時代に即したものが必要性も踏まえて考えてい。



食品ロス削減について

Q 食品ロス削減の今後の取り組みは。

A 食べきり推進店を増やしていく。今年度は親子料理教室を開催するが、



以下、竹平区議の主な質疑の内容を報告します。



妊娠・出産・子育て切れ目ない支援について

Q 里帰りの出産支援は。

A 妊婦全数面接で里帰りの予定を聞くので、今後電子手帳アプリ



現在、電子アプリの導入を進めている。子育て世代の親に健診の受診を促すことも活用し、区民の健康づくりに寄与したい。

がん検診・健診について

Q がん検診・健診の受診促進に向けた取り組みは。

A 若い世代の受診率を高めるのが課題であり、周知啓発に努め、無関心層へのアプローチなど、より効果的な方法を研究していく。



来年度も新たな企画を考えている。さらに、フードバンクと協力して、集めた食品の提供等を図っていきたい。

日本語教育について

Q 外国籍の児童生徒への日本語指導の実施場所や時間数の充実を。

A 日本語指導員の派遣については、各学校の状況を確認しながら、課題等について検証を行っている。時間数が適正かどうかも含め、今後研究していきたい。



修学援助について

Q 就学援助の準要保護の入学準備金の支給時期の更に前倒しきれないか。

A 現在3月に前倒し支給している



が、事務的にスケジュールの短縮が困難かも含め、他区の状況も鑑みながら検討していきたい。

を活用した定期的なメッセージの送付で、いつでも保健師が相談を受けることを更に周知できるようにしていきたい。